

愛知県(県域)

1 産地の概要

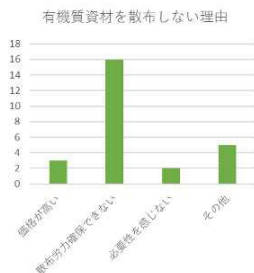
＜対象品目＞ナシ

＜産地の現状・課題＞

- 県内のナシ園では、長年の肥培管理により、リン酸及びカリが過剰に蓄積している園地が多い。
- 肥料価格の高騰を受け、肥料コストの低減が求められている。
- 堆肥は施用されているものの、化学肥料の標準施用量に加えて堆肥される場合が多く、資材に含まれる肥料成分を十分に活用できていない。
- 有機質資材を肥料として有効活用する施用方法を検討するとともに、減肥栽培が果実品質、収穫量への影響を確認し、県内産地への導入可能性を検討した。

2 検討体制

- 農業革新支援センター：事業の企画・調整、技術指導、栽培マニュアル及び産地戦略の取りまとめ
- 普及指導センター：農業者との調整、実証ほの運営管理、調査・技術指導、栽培マニュアル及び産地戦略の検討
- 農業総合試験場：試験方法、栽培マニュアルに関する助言
- JAグループ：取組の運営支援
- 農業者：実証ほ管理及び技術の検証



トラクター脱着式グランドソー
の現地デモの様子

3 グリーンな栽培体系

＜環境にやさしい栽培技術＞

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学肥料の使用量の低減	施肥	〈取り入れる技術〉 有機質資材の肥料的利用による化学肥料の削減

＜省力化に資する技術＞

作業段階	新たに取り入れる技術
施肥	〈取り入れる技術〉 ・マニュアルスプレッダー等の利用による有機物資材施用の軽労化

4 活動内容及び得られた成果

＜活動内容＞

- ・有機物資材への置き換え：県内3地区で実証
- ・散布作業におけるマニュアルスプレッダーなど利用の実証

＜実証結果＞

- ・有機物資材に置き換えても、樹体の生育状況、果実品質に大きな影響は認められなかった。
- ・散布作業においてトラクター脱着式のグランドソーを利用することで、散布時間が1/2となった。

5 今後の展開

有機質資材の肥料的利用と省力的な施肥技術を産地に定着させ、化学肥料使用量の低減と施肥作業の軽労化を図る。土壌診断に基づく効率的な肥培管理を実践し、肥料価格の高騰下においても高品質果実を安定して生産できるナシ産地の実現を目指す。